

2006 年度夏期期末試験・英語 1 解答と解説 (文責: ★Ria★)

(A) Session 3 TRADITION (156～175行目)

<解答>

- (1) a (2) e (3) a (4) c
(ア) respectful (イ) astronomers

<解説>

伝統や信仰と科学技術の発展のための研究の両立の難しさについて述べた文章である。ハワイ人は「天文学者が作った望遠鏡は、自分たちにとって神から与えられた神聖な神の領域を汚した」と主張している。天文学者は「星座の観察に適した Mauna Kea での研究は、ハワイ人を含めた全人類に利益をもたらすものであり、また自分たちの研究は科学という名の精神の追求である」と主張している。これに対して筆者の Michael West は「科学が発達してしまった現代では、両者が Mauna Kea で活動する権利がある」という理想論を提示している。本文はこの両者の主張をまとめた部分である。

(1) 下線部の直訳は「その原因の大半は天文学者にある」となる。よってハワイ人に原因があるとしている b と c は誤り。「その」は下線部の直前の疑問文（ここでは文章の話題を提示する役割）So why is there so much controversy surrounding Mauna Kea today? をさす。正解は a。下線部の後では controversy（論争）の具体的内容が書かれている。

選択肢の内容は

- a. 天文学者は論争の原因の大半が自分たちにあることを認めるべきだ。
- b. 天文学者がハワイ人の心なさに論争の原因があるとするのはもっともだ。
- c. ハワイ人は論争に原因の大半が自分たちにあることを認めるべきだ。
- d. ハワイ人が天文学者の心なさに論争の原因があるとするのはもっともだ。

(2) 第一段落では尊重されるべきハワイ人の伝統を無視して望遠鏡を設置したことで天文学者を批難し、ハワイ人の伝統を尊重することの必要性を述べている。第二段落では天文学者に望遠鏡を分解するように要請するハワイ人は心ないと批難し、天文学者の追究を尊重することの必要性を述べている。このことから two-way street は「両者双方の努力が必要だ」の意味だとわかる。正解は e。

それ以外の選択肢は

- a と c. 論争が起こっている所以両者はすでに交わって（関わりあって）いる
- b. 方向性の問題ではないし、「逆方向」の意味が不明。
- d. 論争が「一つのものに見える」ことは本文に書かれていない。

＊補足＊

実際 Oxford Advanced Learner's Dictionary では two-way の意味として **needing equal effort from both people or groups** とある。このように On Campus では比喩的な表現とされているものでも辞書にその意味が載っていることはよくある。

(3) 下線部を含む文は SVC の第二文型。正解は a。

Calls (from some ~ development there) are (also culturally) insensitive (because ~

S

V

C

(4) 空欄 X を含む文は「Mauna Kea は望遠鏡が設置される前からハワイ人にとって神聖な領域だったので、(X) はこの聖地が尊厳を維持し続けられるように努力しなくてはいけない」となる。よって空欄 X にはハワイ人の伝統を無視した人、すなわち天文学者が入る。空欄 Y を含む箇所は「(Y) は天文学者が Mauna Kea にある望遠鏡に対して感じている親近感を無視している」となり、空欄 Y には天文学者に心ない要請をしたハワイ人が入る。空欄 Z を含む箇所は「宇宙を探求することは (Z) にとっても精神の追求である」となり、空欄 Z には宇宙を探求している天文学者が入る。正解は c。

(ア) 問題文の「最も近い意味」という表現に注意しましょう。Dignity はここでは「尊さ、尊厳」の意。これと同じ意味の言葉は **respectful** のみでこれが正解。Dignity が名詞であるのに対し respectful が形容詞であることから、出題者は「同じ意味の言葉」を問わず、「最も近い意味」という表現を用いたのでしょう。

(イ) 下線部を含む文には SVO の第三文型で倒置法が使われています。

the kinship astronomers feel (with the mountains as they explore the cosmos)

O

S

V

(B) Session 10 POETRY (38～51行目)

<解答>

(5) c

(6) b

(7) c

(8) a

<解説>

ヨーロッパ人に植民地化されたことによるポリネシアの文化の変化が、当事者のポリネシア人が書いた詩に具現化されていることと、これらの詩を読むこと通して真のポリネシアの文化が分かることについて述べた文章である。現在のポリネシアの文化は植民地以前の

土着のポリネシアの文化と植民地の宗主国の文化が融合したものである。しかし、多くの人に知られている、ポリネシア文化は宗主国の人々が様々な著作によって生み出した、ポリネシア人にとってのポリネシア文化と異なるものである。そこで原文では植民地後に植民地文化と土着の文化が融合してゆくなかで生み出された詩に着目している。問題文は植民地化を第一段落ではヨーロッパ人の視点から、第二段落ではポリネシア人の視点から述べた部分である。

(5) 第一段落ではヨーロッパ人の視点から植民地化を正当化している。空欄(5)を含む文は「ヨーロッパ人のポリネシアの植民地化はヨーロッパ人だけではなくポリネシア人にも(5)をもたらす。」となる。よって、第一段落前半で述べられている植民地化がヨーロッパ人にもたらすものを答えればよい。**正解はc。**

それ以外の選択肢は

- a と b. 植民地化のマイナス面を述べているので不適。
- d. ヨーロッパ人側が啓蒙されることは書かれていない。

(6) 第二段落では植民地化をポリネシア人の視点から批難している。“often being forced to”という記述にも植民地化を批判的にとらえられていることが現れている。よって空欄(6)を含む文が、ポリネシア人が植民地化を望んでいなかったということを意味すればよい。**正解はb。**

選択肢の意味は

- a. by all means 「とつても～」
- b. far from 「まったく～でない」
- c. nothing but 「～意外の何ものでもない」
- d. nothing more than 「～以上の何ものでもない」

(7) 空欄(7)を含む文の最後に「ついに(7)の人々の中で第一言語が英語である人々が現れた。」とあることから、空欄(7)には植民地化された側の人々が入ることがわかる。

正解はc。

選択肢の意味は

- a. 「入ってきた」：宗主国のヨーロッパ人のこと。
- b. 「現代的な」：第一段落ではヨーロッパ人はcivilizedと自負している。
- c. 「土着の」：ポリネシア人をさす。
- d. 「若い」：本文では年齢についての記述はない。

(8) 空欄(8)を含む文の大意は「土着のポリネシア人は(8)させられ、それによって英語を第一言語とする人々が生まれた。」となる。**正解はa。**

選択肢の意味は

- a. 「宗主国の文化と言語に同化する」
- b. 「自分たちの文化や言語を手放すか選択する」：ポリネシア人は（８）させられたのであり選択の余地はなかった。
- c. 「宗主国の人と結婚する」：本文には結婚に関する記述はないし、宗主国の人と結婚することで「英語を第一言語とする人々」が生まれるとは言えない。
- d. 「自分たちの文化を守るために土地を去る」：これは「第一言語とする人々が生まれた」ことと矛盾する。

(C) Session 5 OBJECTIVITY （６２～８６行目）

<解答>

(ウ) 干潟が最も使用される干潮時に干潟で観測された鳥（２３字）

(9) d

<解説>

真に客観的に物事をみることの難しさについて述べた文章である。客観的にものごとを見ようとしても、何を重要とみなすか（S/N Ratio）が文化や歴史的経験によって異なるからである。名古屋の干潟の埋め立てをめぐる論争は、そのときの条件に合わせて適切な変数（ここでは use rate）を設定することの重要性を示す一例である。本文は両者が何を重要とみなしたかの違いに起因する両者の use rate の定義の違いについて述べた部分である。

（ウ） S/N ratio とは「何を重要とみなすか」を意味し、Signal は「重要な情報」、Noise は「重要でない無視できる情報」をそれぞれ意味している。一方で重要とされ、もう一方では重要とみなされず無視された情報を答えればよい。

Promoters of project は「潮の満ち引きに無関係に観測された鳥の数」を use rate としたのに対し、NGO は満潮時には鳥が干潟を使用できないことに着目し、「干潟が最も使用される干潮時に干潟で観測された鳥」を use rate とした。解答の「～の数」という表現に合わせて答えると、「干潮時に干潟で観測された鳥（１３字）」となるが、これでは字数が足りないのでこの情報が重要である理由を付け加えて正解は「干潟が最も使用される干潮時に干潟で観測された鳥」となる。

- （９）本文中にはっきりと主張は明記されていないので選択肢を消去法で吟味しましょう。
- a. 「明らかに客観的に思えるデータでさえ、同時に情報と調査者の視点を生み出すことが多い」：本文にはデータが何かを生み出すとは書かれていない。

- b. 「客観性の本質は事実に複数の解釈があるようにみえるところにある」：事実そのものに複数の解釈があるとは述べられていない。
- c. 「人間は過失をおかすので数値が客観的な事実を表すことはけしてない」：数値が客観的な事実を表しにくいのは S/N ration が異なるからであり、人間の過失をおかすからではない。
- d. 「論争に勝とうとすると、その人の価値観が数値（この例では use rate）に反映されてしまうものである」：名古屋の干潟の論争に勝つために NGO が「干潟を鳥の最も使用するときの、干潟を使用している鳥の数が重要」という価値観の元で use rate を計算したのである。

(D) Session 7 VOICE

<解答>

(10) f (11)b (12)d

<解説>

世界中に広まりつつあるカラオケについて筆者が初めてカラオケをしたときの体験談、およびアメリカ在住中国人のおかれた状況の違いによるカラオケの役割の違いについて述べた文章である。初めてカラオケをした時はなかなか歌う勇気が持てなかったけれども、1回歌えばカラオケの楽しさに気づかされた人は少なくないのではないのでしょうか。

筆者によるとアメリカ在住の中国人は「カラオケの果たす役割」に応じて以下の三つの共同体に分けられる

- ①中流階層からなり、カラオケはアメリカ在住中国人の間で文化的なつながりを与え、中国文化とアメリカの文化を媒介する役割を果たす。
 - ②上流階級からなり、カラオケは自分の地位と裕福さを表し競争心を駆り立てる役割を果たす。
 - ③下層階級からなり、カラオケは貧困という辛い現状を一時的に忘れさせる役割を果たす。
- 本文はそれぞれの共同体にとってのカラオケの役割をまとめた部分である。

（１）東大生なら入試の１Ｂでおなじみの文書を並び替える問題です。まず、問題文の文がどの共同体について説明しているのかを押さえましょう。

- a. 「カラオケは現実の束縛から一時的に逃れられる、社会的かつ象徴的な安息地をもたらす」：共同体③。
- b. 「最も社会的かつ経済的に辛い状況に追い込まれた人々に自信とつながりを与える」：共同体③。

- c. 「裕福に育ち、高学歴の専門家で New Jersey の高級集宅地に住む」：共同体②。
 - d. 三つの共同体が「解釈共同体」であることの説明。特定の共同体について述べたのではない。（「解釈共同体」については75ページの注[105]参照）
 - e. 「カラオケを社会的地位の象徴と見なす」：共同体②。
 - f. 要旨は「カラオケは自分と似た状況におかれた人とつながりを持つためのある種の社会的空間を作り出す。」：これだけではどの共同体について述べたのかわからない。
 - g. 「カラオケは人々に逃げ道または癒しをあたえる」：共同体③。
- 以上より a と g がともに共同体③について述べたものであることから(10)と(11)に入るのは、同じく共同体③について述べた b と f（f に関しては消去法）だとわかる。f で “They use karaoke to create certain social spaces~”とあり、b で “These are spaces where people in the community~”とあるので、social spaces について説明している f が先に来なければいけないことがわかる。正解は(10)が f で(11)が b。

（2）「解釈共同体」の意味を問う問題。「解釈共同体」の意味については75ページの注[105]を参照。正解は c。

- a：解釈が「実際の社会の不平等」とは限らない。
- b：解釈が「漫画やアニメなどの世界中で共通する娯楽」とは限らない。
- c：選択肢は「社会的で文化的な環境におうじてものを解釈したり意味付けたりするために同じ方針をとる人々」これが正解。
- d：解釈が「小さな地域社会における直接のつながり」とは限らない。

(E) Session 1 YOU （43～57行目）

<解答>

(13) c (14) d (15) a (16) c

<解説>

「自分らしさ」を得るのに必要なことについて述べた文章である。一般に「自分らしさ」は生まれつきの性質だと考えられがちだが、実際は①既存の枠組みの範囲内での②多大な努力の結果にすぎない。前半では、Bobby Fisher、Pablo Picasso および民主主義における個人主義を例に「独創的な卓越性」を得るために必要なことについて述べている。本文はピカソを例の部分である。後半では、学生が「自分らしく」あるためには、社会の関係性という枠組みの中で、自分を向上させようと努力することが必要だと述べている。

（13）空欄（13）を含む文は「駆け出しのピカソの芸術作品を見ることで、独創性は

長期間にわたる多大な努力を、まずは伝統と慣習の（１３）行った結果として現れるものだということがわかる。」となる。「Picasso started out as ~ in rudimentary sketching」がこの具体的内容にあたる。すなわち芸術家になるための第一段階として、まずその分野の基本に精通しなければいけないのである。**正解は c。**

選択肢は

- a. 「認識された枠組みを否定しながら」
- b. 「既存の枠組みを再解釈しながら」：これは基本に精通した後の段階。
- c. 「既存の枠組みの中で」：「基本に精通する」という内容と一致する。
- d. 「既存の枠組みを改良しながら」：これも基本に精通した後の段階。

（１４）空欄（１４）を含む部分は「われわれはあまりに彼の立体派の絵画に見慣れてしまっているので、彼は世界を『自分らしく』解釈する（１４）のだと思い込みがちだが、実際はそうではない」となる。「実際はそうではない」とあることから、その後に述べられているピカソの実態とは反対の内容（一般的によくある誤解）について述べている文だとわかる。**正解は d。**

選択肢は

- a. 「～独自の一風変わった方法を絵画に適用した」
- b. 「～風変わりな方法を持っていた」
- c. 「～技術を自分ひとりで独学した」
- d. 「～才能を生まれつき持っていた」

（１５）基本的なことに精通することでピカソ独自の描き方（cubism 立体派絵画）がどうなったか答えればよい。**正解は a。**

選択肢は

- a. 「確立した」：ピカソは既存の枠組みの中で独創性を確立したのである。
- b. 「失った」：ピカソが独自の抽象絵画に卓越していたという本文の主旨と矛盾する。
- c. 「実践した」：基礎を学ぶで、その応用が実践されるのではない。
- d. 「取り戻した」：ピカソが独自の描き方を失ったとは書かれていない。

（１６）空欄（１６）を含む文は「～しかしピカソが通った道のりを飛ばしては、（１６）になることはできない」となる。but という接続詞があることから、空欄（１６）には文の前半で述べられている one of Picasso's obscure epigone 「ピカソの亜流の一人」（他人の真似ばかりをして独創性に欠けること）と対比されている「（ピカソのような）優れた独創的な画家」という内容が入ることがわかる。**正解は c。**

選択肢は

- a. 「本当の意味での天才の亜流」：亜流には優れた独創性はない。

- b. 「ユニークな立体派の画家」：立体派の画家になることはピカソの亜流になることを意味する。
- c. 「真に独創的な自分らしさを持つ人」
- d. 「ピカソと同じくらい一風変わった人」：eccentric という言葉には否定的なニュアンスが含まれているので不適。

*筆記試験は以上です。On Campus の訳注にはきちんと目を通しておいってください。

*リスニングに関しては各自よくスクリプトを読んでおいってください。

この解答に関する質問・訂正はシケタイまでお願いします。